

2020年7月1日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
fax 047-705-6018
携帯 090-6310-3294
メールアドレス
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.129

6月議会 キャッシュレス決済促進事業に反対 市民にやさしい経済対策が必要



キャッシュレス決済を利用している市民はどれだけいるのでしょうか？

6月12日から22日まで、6月定例市議会が開かれました。2月市議会に続き、一般質問が中止となりました。コロナ対策を審議するなど、一般質問も必要であると主張しましたが、多数で押し切られました。代表質問と各常任委員会が開かれました。代表質問は金子議員、補正質疑はやなぎ議員と廣田議員が行いました。キャッシュレス決済普及促進事業、アーティスト支援事業の考え方に納得できず、補正予算に反対せざるをえませんでした。「無所属の会」が補正予算の修正動議を提出し、市議団は賛成しました。（賛成者少数で否決）

キャッシュレス決済促進事業とは

6月2日の記者会見で、村越市長が「市内の店舗でキャッシュレス決済で買い物をした場合、10%分のポイントを付与し、次回以降の買い物で使える事業をはじめ」と発表しました。補正予算で、「キャッシュレス決済普及促進委託料」として、市民への付与は市が負担し、事業費は約20億円以上です。

本場にコロナ禍のなかでの新たな経済対策と言えるのでしょうか。この事業は、スマートフォンを持っていない人や、子どもや高齢者、所得の低い人ほど恩恵を受けません。通産省が発表しているポイント還元登録加盟店は、市川市内で2103店です。キャッシュレスを

とするとありましたが、自身は活動支援です。対象者はプロで、市内在住か活動拠点があること。人数もわずか50件を選定して、20万円を給付。給付金の1千万円以外に、審査費用に200万円、動画を配信するためのオンライン整備に300万円の負担金が経費としてあります。

市民に強要することはできないし、ポイント還元にも市民の税金を使うことにも批判の声があがっています。また、委託事業

新型コロナ対策は、これからも続きます。財政調整基金から20億円も拠出しますが、どんどん使っていくということではありません。本当に必要な時に有効に使えるようにしておかなければならないと、反対理由を述べました。

アーティスト支援事業

また、市長は記者会見で、「アーティスト支援事業（文化芸術活動緊急支援事業）」も経済支援

施策の目的もはっきりせず、「今」でなければならぬ緊急性も見当たらないと述べ、補正予算での必要性はないものと思われることから、反対しました。

市政アンケートにご協力ください



青年・学生の命と暮らし守って

民青班が市と教育委員会に要請

6月19日、日本民主青年同盟市川浦安班のメンバー5人が市川市に対し、「新型コロナから青年・学生の命と暮らしを守る緊急要請」を行いました。市川市からは大津副市長が、教育委員会からは松丸教育次長が対応し、要請書を受け取りました。

この間、民青同盟が取り組んできた「緊急生活実態アンケート」に、市内に在住や通勤・通学している学生や労働者など50人から切実な実態が寄せられ、まとめられたものも提出し、それぞれ語り懇談しました。

【要望項目】

- ・大学生・専門学生等への対応
 - ①市内の全大学で、学費の減免を実現できるように要請、援助すること
 - ②市独自の給付型奨学金を拡充すること
 - ③市独自の相談窓口設置や実態調査、既存の支援策の周知など、生活に困難をきたしている学生や、不安を抱える学生等への支援をすること
 - ④市独自の事業者緊急支援臨時給付制度の体制強化をはかること
- 7月末までの回答を求めました。



支援をすること

- ・若年労働者への対応について
- ①医療、福祉、教育などを中心に人員を増やし、コロナ禍など非常時でも対応できる体制を平時から整えること
- ②千葉労働局と連携し、雇用の首切りを許さず、失業する若者を出さないこと
- ③住まいを失った人を支援するために臨時の宿泊施設などの手立てを市独自で取ること

新第1庁舎へ 8月15日引越し

新第1庁舎の4階以上の引越しが8月15日に行われます。6月議会が終了した翌日、議場や控え室を見学し、座席はどこにするかなど、話し合いました。



議場（上）と、控え室廊下（左）の写真



無料法律相談

- ◎7月14日（火）
担当 土居太郎弁護士
 - ◎8月11日（火）
担当 高橋 勲弁護士
- 午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分。
予約は清水又は控え室まで

6月市議会【議案の採決】共産党が反対した議案

◎令和2年度一般会計補正予算

【発議の採択】共産党が賛成した発議

◎村越市長に対し、新第1庁舎への不要な中央階段設置追加工事を直ちに白紙撤回するよう求めるとともに、人が過密になる市民交流スペースを廃止するなど、感染症対策に万全を期す観点からフロアレイアウトを見直すよう求める決議について（提出・無所属の会、賛成・共産党、不採択）

◎村越市長に対し、テスラ社高級電気自動車の公用車導入を巡り、市政を著しく混乱させ、市政に対する市民の信頼を失墜させた責任を問う決議について（提出・無所属の会、賛成・共産党、不採択）

◎政務活動費の50%の額及び委員会視察旅費等の一部額を合算した2844万円を減額する等の適切な予算措置を講ずることにより、新型コロナウイルス感染症対策のさらなる充実を求める決議について（採択）

◎村越市長に対し、12月定例会の一般質問での「義務教育を受けていれば」という発言の取り消し、及び、その後の議会での議員の質問にまともに答えないことに対し、市民に謝罪することを求める決議について（提出・共産党、賛成・無所属の会、不採択）

◎市川市北部に居住する市民の食料品アクセス問題対策に関する意見書（採択）